ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

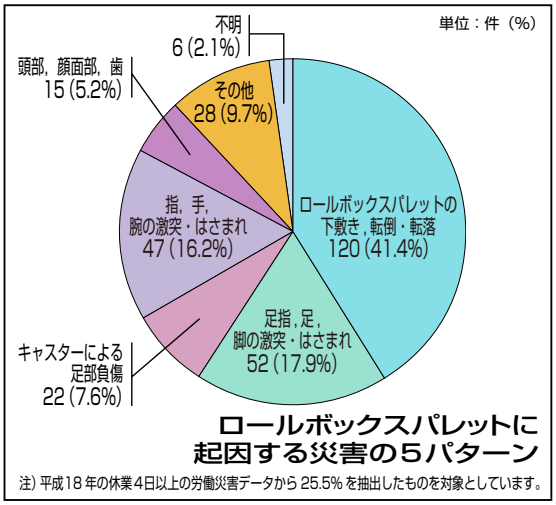
安全に作業するための 8 つのルール

とても便利なロールボックスパレットですが､下敷きや手足の負傷による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、カゴ車とも呼ばれる人力運搬機です。開口部以外の3面がパネルで囲まれているため、荷崩れや荷物の損傷を防いで移動できるだけでなく、店舗では商品棚として使用することもできます。このように、物流の効率化や作業者の負担軽減に貢献する、とても便利な存在で、多くの職場で活用されています。

そんな利便性の高いロールボックスパレットですが、近年では労働災害が多数発生しており、その約4割が下敷き事故でした。また、ケガをした半数近くの方が作業経験1年未満だったことから、作業に不慣れな時期での対策がカギとなります。

このリーフレットでは、ロールボックスパレットを使うときに、守ってほしい「8つのルール」を紹介しています。ぜひ、お読みになって、安全に作業を行ってください。



ロールボックスパレットに起因する災害の５パターン

注）平成18年の休業4日以上の労働災害データから 25.5% を抽出したものを対象としています。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所

(H27.9)

ロールボックスパレットは意外と危険がいっぱい！
8つのルールを守って安全に作業しましょう。

rule 1 段差、傾斜のある場所での取扱い

事故が起きやすい場所なので、
細心の注意を払って作業しましょう。

●段差、傾斜のある場所での作業は、特に慎重に行いましょう。
●ロールボックスパレットが倒れそうになったら、倒れる方向には絶対に入らないようにしましょう。
●倒れる場合は、周囲の人に大きな声で注意をうながしてください。

rule 2 作業服、作業靴、保護具

安全作業のためにも、
きちんとした作業着を身につけましょう。

作業服

●汚れてもよい服装か、エプロン等を着用してください。
●スリ傷などのケガを防ぐため、長袖・長ズボンを着用してください。
●シャツやズボンの裾が引っ掛からないようにしましょう。
●暗い所で作業する場合は、できるだけ明るい色の服装を着用してください。
●夜間の路上で作業する場合、認識されやすいよう作業服に反射シールなどを貼りましょう。

作業靴

●つま先を保護する安全靴やプロテクティブスニーカーを履いてください。スリッパ、サンダル、ヒール靴では決して作業しないでください。

保護具（プロテクター）

●手や指のケガを防ぐため、軍手など手袋を使ってください。
●手袋は、手のひら側に滑り止め加工したものを使ってください。

●脚部のケガを防ぐため、足首やすねを保護するプロテクター等を着用しましょう。
●据付型の中間棚があるときは、棚が落下し、頭部をケガするおそれがあるので、ヘルメット（保護帽）を着用してください。

rule 3 ロールボックスパレットの基本操作

基本の操作を覚えて、
事故を起こさないようにしましょう。

遵守事項

●必ず両手で操作してください。●作業時の手の位置は、肩から腰の高さを基本とし、荷物の重さや操作のしやすさを考慮して作業してください。●操作性をよくするため、両手で均等に力を入れてください。●動かすときや停止させるときは、腕の力だけでなく、膝をしっかり曲げて、脚力を使って操作してください。●見通しの悪い場所では一時停止して周辺を確認してください。●走行時以外はキャスター付きストッパーを使用してください。

注意事項

●段差や傾きのある場所では転倒に注意しましょう。●側面の幅が広くなるほど、支柱を持つ両手が広がり、ロールボックスパレットと身体が接近するので、接触や巻き込まれに注意しましょう。●使用前には必ず点検しましょう。不具合が確認された場合には、テープ等で使用不可であることを明示し、速やかに修理しましょう。

禁止事項

●素手で操作しない。●足で蹴って動かさない。●走ったり、大きな歩幅での操作はしない。●転倒のおそれがあるため、積載面には乗らない。●脱輪や転倒のおそれがあるので、複数台連結して取扱わない。

安全に作業するための
8つのルール

rule 4 「押し」「引き」「よこ押し」

それぞれのコツを覚えて、安全に作業しましょう。

一般的にロールボックスパレットの操作には「押し」「引き」「よこ押し」の３種類の操作方法があります。状況に応じてこれらを併用しましょう。

「押し」はロールボックスパレットの最も基本的な操作方法です。前歩きのため違和感がなく、力を入れやすい姿勢で操作でき、長距離の移動に適していること等が特徴。

押し

メリット
- ●前向きに進むため動作に違和感なく力を入れやすい
- ●長距離の移動に適している

デメリット
- ●進行方向の見通しが悪いと段差などに気が付きにくい
- ●方向転換の多い現場には不向き

ポイント！
- ●前方の見通し確保のため、作業者の目の高さより積載しない

「引き」は進行方向に対してロールボックスパレットの先頭に操作者が位置するため、第３者への接触リスクが低く、スーパーマーケット等の小売店の店舗内での移動等にみられる操作方法。

引き

メリット
- ●第３者への接触のリスクが低い
- ●狭い場所でもコントロールしやすい

デメリット
- ●進行方向がよく見えない
- ●後ろ歩きで足が動かしにくい
- ●長距離の移動に不向き

ポイント！
- ●「引き」は初動で、途中から「よこ押し」「押し」を併用する

「よこ押し」は持ち手がないロールボックスパレットの構造を反映した操作方法です。ロールボックスパレットの重心に近い位置で操作するので操作性がよく、前方の見通しがよいこと等が特徴。

よこ押し

メリット
- ●ロールボックスパレットの重心に近い位置で操作するため操作性がよい
- ●前方の見通しがよい

デメリット
- ●開口部側に立つと荷崩れによるケガのおそれあり
- ●傾斜部では操作性がよくない

ポイント！
- ●身体をひねった姿勢で操作するため初動時・停止時に力を入れにくいので一定の速度に達してから「よこ押し」で

rule 5 複数人での取扱い

声を掛け合い、1人のときよりも慎重に作業しましょう。

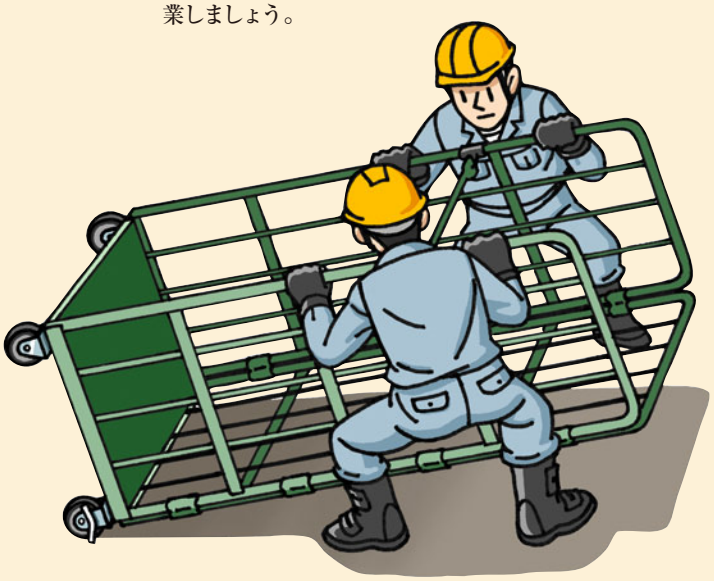
遵守事項

●事前に誰が指揮者になるのかを決めてください。

●激突やはさまれのおそれがあるため、原則として作業員は全員「よこ押し」で操作してください。●転倒したロールボックスパレットを引き起こすとき、キャスターが地面に接地した瞬間、ロールボックスパレットが動き出すことがあるので、複数人が側面を持って引き起こしてください。

注意事項

●複数人の場合、力の入れ具合がそれぞれの人で異なることを理解し、お互いに声を掛け合って、慎重に作業しましょう。



rule 6 荷物の積載

基本的な積み方をマスターし、荷崩れを防ぎましょう。

遵守事項　●ロールボックスパレットの最大積載量を確認してください。●安全のため、重いものは下部に、軽いものは上部に積載してください。●大小の積荷がある場合は中間棚を使用してください。●荷物を積む前に、積載面と本体がロックされているかを確認してください。●ピンで固定する中間棚の場合、すべてのピンをロックしましょう。●荷崩れ防止、ロールボックスパレットの外側への膨らみ防止のため、移動時はサイドバーを装着してください。●解除したサイドバーは、接触しないよう積載面側に収納してください。●サイドバーの装着・解除をしやすくするため、ピン穴の塗装のはがれ、サビは取り除いてください。

注意事項　●中間棚はガタつきがあると荷崩れするため注意しましょう。

禁止事項　●最大積載量を超えた積載はしない。●ロールボックスパレットからはみ出した積載はしない。●側面パネルに立て掛けて積載しない。●側面パネルを圧迫するような積載をしない。●荷崩れのおそれがあるため、ロールボックスパレット本体や中間棚のピンが変形したまま使用しない。

rule 7 折りたたみ・組み立て・積み重ね

折りたたむと不安定になるので、転倒には注意しましょう。

遵守事項　●転倒のおそれがあるので、折りたたんだ状態ではなく、必ず組み立ててから移動してください。●狭い通路を通るときなど、止むを得ず、折りたたんだ状態で移動する場合は、側面パネルの内側に立って、押して移動してください。●折りたたんだロールボックスパレットを積み重ねて保管する場合は、路面の傾斜や風によって転倒するおそれがあるので、平らな場所で、ロープ等で固定して動かないようにしてください。

注意事項　●L字型の折りたたむタイプは、背面パネルの外側に転倒しやすいので注意しましょう。

rule 8 テールゲートリフターでの取扱い

昇降時は特に危険なので、気をつけて作業しましょう。

基本事項　●昇降板の最大積載重量を超えないようにしてください。●昇降板の下に入らないでください。●転倒防止のため、できるだけ水平な場所で作業してください。

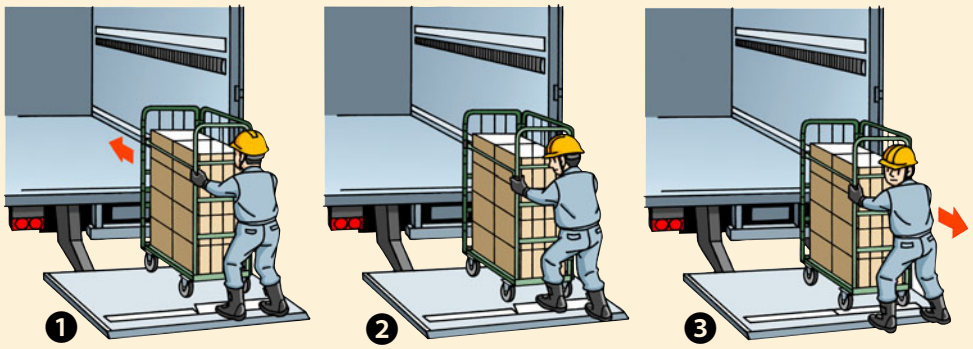
昇降板の昇降　●テールゲートリフターの操作は昇降板から離れて操作してください。●作業者は昇降板に乗って操作しないでください。●荷台と接地面にそれぞれ作業者を配置してください。

昇降板が荷台の高さにある時　●荷台からロールボックスパレットを昇降板に移動するときは、昇降板のキャスターストッパーが出ていることを確認してください。●側面にキャスター落下防止枠のない昇降板上で移動するときは、側面から転落しないよう、スペースを十分に確保してください。

昇降板が接地面にある時　●昇降板から接地面にロールボックスパレットを移動する場合、昇降板と接地面との段差に十分注意してください。

昇降板から接地面にロールボックスパレットを移動する手順。

❶ロールボックスパレットを荷台側へ一旦移動し、❷キャスターストッパーを解除し、❸その後、ロールボックスパレットを接地面に引き出します。



※ここに紹介した８つのルールは安全作業への大切な入口です。このリーフレットについて更に詳しく知りたい方は、労働安全衛生総合研究所技術資料 JNIOSH-TD-No.4 (2015)「ロールボックスパレット起因災害防止に関する手引き」を参照してください。独立行政法人労働安全衛生総合研究所ホームページ http://www.jniosh.go.jp/ からダウンロードできます。